

## 学校法人 関西外国語大学 行動計画

I. 行動期間 2021年4月1日 ～ 2026年3月31日

### II. 基本方針

- ① 女性労働者に対する職業生活に関する機会を提供する。
- ② 職業生活と家庭生活との両立に資する雇用環境を整備する。

### III. 数値目標

- ① 教育職員において、女性教員の在職者比率を大学 35.0%、短大 37.0%以上とする。
- ② 事務職員における 2021 年度から 2025 年度までの 5 年間の年次有給休暇取得率(有給休暇取得日数/有給休暇付与日数)の平均値を 56.4% (2017 年度～2019 年度の年次有給休暇取得率の平均) 以上にする。

### IV. 具体的な取り組み

- ① 出産、育児休業等による長期休業を取得した女性教員の円滑な復帰を支援する体制の整備
  - 具体的施策・実施時期
    - ・ 復職面談の実施 (2021年4月～)
    - ・ 子の看護休暇の柔軟な取得 (2021年4月～)
    - ・ 育児に係る諸制度の周知と情報提供の徹底 (2021年4月～)
    - ・ 育児短時間勤務制度の対象となる子の年齢を3歳未満から延長する。(2025年4月～)
    - ・ 女性教員の研究活動継続のための相談体制の整備 (2025年4月～)
- ② ワークライフバランスを啓発する各種研修制度の充実
  - 具体的施策・実施時期
    - ・ ハラスメント防止に係る研修の実施 (2021年4月～)
    - ・ 自己啓発支援研修の実施 (2024年4月～)

以上

## 女性の活躍に関する情報の公表(数値目標進捗)

## I. 行動期間・数値目標進捗

1. 行動期間： 2021年4月1日 ～ 2026年3月31日（5年間）

2. 数値目標：

(1) 教育職員において、女性教員の在職者比率を①大学 35.0%、②短大 37.0%以上とする。

(2) 事務職員における2021年度から2025年度までの5年間の年次有給休暇取得率（有給休暇取得日数/有給休暇付与日数）の平均値を③56.4%（2017年度～2019年度の年次有給休暇取得率の平均）以上にする。

3. 進捗管理：

	① 女性教育職員 在職率（大学）	② 女性教育職員 在職率（短大）	③ 事務職員 年次有給休暇取得率
（数値目標）	35.0%	37.0%	56.4%
2021年度	36.7%	35.4%	54.9%
2022年度	39.8%	36.7%	64.3%
2023年度	40.1%	36.2%	65.6%
2024年度	40.8%	35.4%	67.1%
2025年度			
合計（平均値）	39.4%	35.9%	63.0%

備考： 当該年度での①・②の数値は5月1日時点、③の数値は前年度実績

## II. 男女の賃金差異の公表

1. 対象期間： 2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）

2. 男女の賃金の差異：

	男性の賃金に対する女性の賃金の割合
全職員	79.5%
正職員	80.0%
パート・有期雇用職員	86.4%

備考： パート・有期雇用職員については、正職員の所定労働時間をもとに換算した人数で算出